



新時代を拓く!

わたなべ

渡辺

そういちろう

活動報告 Vol.31

発行：若き風の会

討議資料

白岡を「次のステージ」へ!

渡辺そういちろうの5大戦略

1 子育て世代に選ばれる街へ

- 子育て世帯への経済的支援拡大。多様な保育の整備。
- インターナショナルスクールの誘致。

2 大学や商業施設の誘致で、街に賑わいを

- 土地活用の規制緩和の推進。
- 国とのネットワークを生かした大学・商業施設の誘致。

3 県の力で都市整備を前に進める!

- 白岡宮代線の整備をスピードアップ。
- 県道の渋滞対策。魅力的な駅前整備の実施。

4 NOと言わない医療を創る!

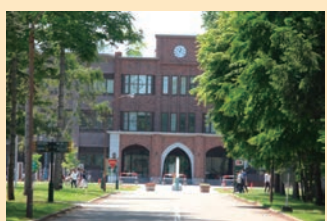
- 休日・夜間の小児救急の充実。緩和医療や訪問医療の推進。
- 保健所の機能強化・設置促進。

5 水と緑の自然環境を復活させる

- 河川の徹底浄化。地域産の農産物の販路開拓。
- 特色のある公園づくりを推進。



地図でわかる。本気の政策提言



大学や商業施設の誘致を進め、街に賑わいを創る!

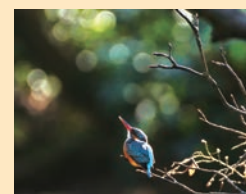
駅から離れた地域の持続的な地域づくりを進める。優良田園住宅制度等を活用し、農村地域でも新たに定住できる環境を。公共交通の充実を図り、利便性を高める。



白岡中央総合病院の移転にともない、質の高い総合病院の建設へ。がん医療や在宅医療に対応できる医療環境を。



空き家・空き店舗を活用したリノベーションまちづくりを推進。新たなお店を増やす。



下水処理に新技術を実施し、河川を徹底浄化。透明な川を取り戻す。

春日部市



西口の駅前通り(県道)は幅員も狭く、朝夕のラッシュ時は特に危険な状態。西口開発に県の予算を投入し、整備をスピードアップ! 魅力的な駅前を創る!

- 白岡市の軸となる道路整備を進める。
- 白岡宮代線のスピードアップと将来像を明確化。宮代町の駅までの整備を進め、宮代からの新たな人の流れを白岡へ。
- 春日部菖蒲線の渋滞対策を! (右折レーンの延長等)

医療とまちづくりを語る三者会談



衆議院
厚生労働委員長

三ツ林ひろみ

順天堂大学
特任教授

天野 篤

前白岡市議会議員

渡辺そういちろう

白岡市・宮代町の医療の課題

渡辺: 本日は宜しくお願いします。私は現在、白岡市・宮代町で活動していますが、白岡・宮代の利根医療圏の医療環境には課題を感じています。この地域の人口当たりの病床数と医師数は著しく少なく、これまで改善されてきませんでした。また、**小児二次救急(休日や夜間の子どもの救急)の受け皿も少なく**、子どもに何かあったときに不安だという声をたくさんいただきます。この状況を改善したい。今こそ県の保健医療計画の見直しを進め、**地域医療を改革していく必要がある**と考えています。

三ツ林: これから医療の需要は増加します。コロナ禍のようなパンデミックにも耐えられる医療環境が必要です。**利根医療圏の基準病床数を増やす事が重要ですが、渡辺さんに県政で声をあげてほしい**と思います。私はこの問題について医師会とも協議を行ってきましたが、問題意識は共通しています。

天野: 医師を確保する事も課題のひとつですね。しっかりとした基幹病院をつくり医師を育てて派遣する体制を作らなければなりません。これは長期計画になりますが、**10年先を見据えて政治活動ができる若い渡辺さんが取り組んでいくべき課題だ**と思います。



渡辺そういちろう

白岡市への大学キャンパスの誘致

渡辺: また、私は白岡市の教育・文化水準を高めていく事が必要だと考えています。今、順天堂大学が新たなキャンパスを埼玉県東部地域に設立する事を検討していると聞きました。私は**白岡市もこの候補地として立候補すべき**と考えています。

天野: 順天堂大学では新たに**農学部と獣医学部のキャンパスを埼玉県東部地域に設立する**事を検討しています。ぜひ白岡市も手をあげて頂きたいですね。

三ツ林: 文教地区の特区制度を活用すれば国からも補助金が出るはずですが。白岡市はもっと県や国の力を活用して大胆な政策を進めていくべきです。**農学部が来れば地元農業との産業連携も考えられます。**



天野 篤

第125代天皇上皇明仁の手術を執刀。冠動脈バイパス手術の名医。順天堂大学の特任教授。著書やメディア出演も多数。蓮田市出身だが白岡市とも縁が深い。

若い力で魅力的なまちづくりを

天野: 白岡は川がたくさんあって梨が盛んな場所ですよ。子どもが川で遊べるような綺麗で安全な河川や田畑を取り戻す事も重要ではないでしょうか。神奈川の鶴見川など見に行きけれど、他の県に比べると**埼玉県は河川の綺麗さを取り戻せていません**。ぜひ渡辺さんの世代で白岡が持つ自然の魅力を高めていただきたいと思います。

三ツ林: おっしゃる通りです。また渡辺さんには地域を活性化させ、若い力が白岡にたくさん入ってくるような政策を進めてほしいと思います。足腰の強い自治体を創っていくには、企業誘致や地域産業の活性化が必要です。**国からもしっかりサポートしていきたい**と思います。

渡辺: 河川の浄化については新技術も出てきていますので、政策の柱の一つとして取り組んでいきます。地域活性化についても自分のライフワークのひとつです。**若い行動力と政策力**で白岡市の地域経済の活性化を図っていききたいと思います。自分が持つネットワークを最大限に活かしていきます。



三ツ林ひろみ

医師、衆議院議員。衆議院厚生労働委員長として国の最前線で福祉政策に取り組む。衆議院の区割り変更により白岡市・宮代町の新たな衆議院議員となった。

渡辺そういちろう プロフィール

IT企業勤務を経て、元復興大臣平沢勝栄の公設秘書として政治活動に参加。2015年、2019年に白岡市議会議員に二期連続当選。家族は妻と娘、愛犬モナカ。明治大学大学院ガバナンス研究科卒業。公共政策修士。



Webサイト



Twitter



Instagram

発行責任者: 若き風の会 桜井純子
〒349-0214 埼玉県白岡市寺塚31
TEL 0480-53-5834 soichirowt21@gmail.com

